



## PRESS RELEASE

報道関係各位

2019年7月4日

### 麻布大学、国際シンポジウムを2019年7月29日開催 「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」

麻布大学

麻布大学（学長：浅利昌男、本部：神奈川県相模原市、URL：<https://www.azabu-u.ac.jp/>）は「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」をテーマに、国際シンポジウムを7月29日（月）に本学にて開催します。本シンポジウムには、一般市民をはじめ学生など、どなたでも参加可能（入場無料で事前申込不要）です。

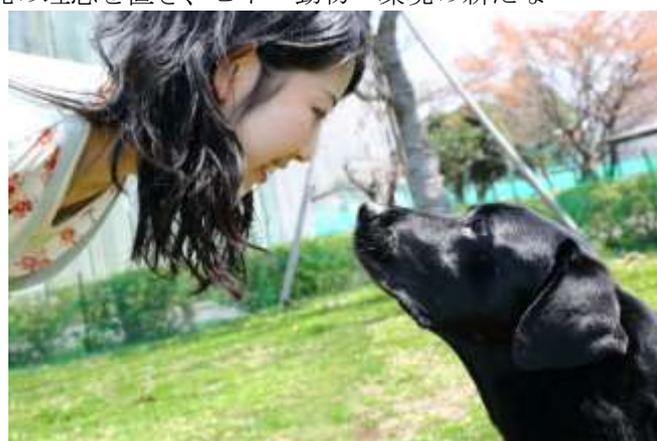
麻布大学は、『動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現～地球共生系「One Health」～』をテーマとして、文部科学省私立大学研究ブランディング事業(2016年度)に採択されました。

今回の国際シンポジウムでは、学内の研究者4名による同事業の研究成果と、本領域において最先端でご活躍される海外講演者2名を含めた4名の先生方による招待講演を開催します。今回は、動物との共生によってヒトの健康が得られるメカニズムを明らかにすることを目指し、共生、細菌叢、免疫という切り口で、ヒトと動物の共生関係を問い直します。

（本シンポジウムの詳細はこちら＞ [https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019\\_jp.pdf](https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019_jp.pdf)）

本学は、「地球共生系－「One Health」に教育と研究の理念を置き、ヒト・動物・環境の新たな共生の在り方を科学的に明らかにし、社会に貢献することを目指しています。

本事業では、その理念をもとに「ヒトと動物の共生科学」の創生を目指し、動物学、獣医学を主体とする獣医学部と、ヒト健康社会を目指す生命・環境科学部が両輪となって連携し、本課題の目標達成に向け、学際領域を超えた全学連携による研究チームを構成、研究活動を進めてきております（現在：8プロジェクト）。



この活動は、本学の特徴的な研究活動を基盤として、世界に先駆けた「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」が実施可能にする取り組みを進めるものです。

#### <開催概要>

- ・日時：2019年7月29日（月）、10時～17時
- ・会場：麻布大学 8号館 7階 百周年記念ホール  
神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71 （JR 横浜線 矢部駅 徒歩 4 分）
- ・問い合わせ：国際シンポジウム事務局（学術支援課） TEL:042-754-7111（代）/内線 2411



## 国際シンポジウムプログラム

### ●午前の部 - 日本語セッション

司会進行：阪口雅弘 麻布大学 獣医学部 教授 (微生物学第一研究室)

※ブランディング事業副統括者

- ・講演 1 南 正人 麻布大学 獣医学部 准教授 (野生動物学研究室)

演題名：野生動物の資源化・有効活用による共生システム構築のための微生物研究

- ・講演 2 上家 潤一 麻布大学 獣医学部 准教授 (病理学研究室)

演題名：比較病理学から考える AA アミロイド症研究

- ・講演 3 関本 征史 麻布大学 生命・環境科学部 准教授 (環境衛生学研究室)

演題名：ペットフードから変異原が検出される？コンパニオンアニマルの発がんとの関わりを探る

- ・講演 4 茂木 一孝 麻布大学 獣医学部 准教授 (伴侶動物学研究室)

演題名：犬との共生は細菌叢を介してヒトのメンタルヘルスを促進している？

### ●午後の部 - 英語セッション

司会進行：菊水健史 麻布大学 獣医学部 教授 (介在動物学研究室)

※ブランディング事業統括者

- ・招待講演 1 西田 淳志 東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクトプロジェクトリーダー

演題名：Family pet ownership during adolescence: Findings from the Tokyo Teen Cohort Study

- ・招待講演 2 Paul Forsythe, Department of Medicine, McMaster University

演題名：How do gut microbes influence brain and behavior ?

- ・招待講演 3 Shelly A. Buffington, Department of Neuroscience, Cell Biology, & Anatomy, University of Texas Medical Branch

演題名：Host-microbe interactions regulating synaptic plasticity and behavior.

- ・招待講演 4 大野 博司 理化学研究所 生命医科学研究センター 粘膜システム研究チームリーダー

演題名：Gut microbiota and autoimmune diseases: multiple sclerosis and type 1 diabetes.



### ●麻布大学の文部科学省私立大学研究ブランディング事業

麻布大学は、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業（タイプB：世界展開型）として、事業名、『動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現～地球共生系「One Health」～』に2016年度に採択されました。

本事業では、ヒトと動物の共生を科学的に解明し、その成り立ちを介してヒトの健康社会に寄与する、という新しい学問領域の創設を目指してしています。

同事業では、次の3テーマで現在（2019年度）は8つの研究プロジェクトの課題の研究が行われています。

1. ヒトと動物における認知インタラクション解析：
2. ヒトと動物の微生物クロストーク：
3. 動物との共進化遺伝子の同定：

### <関連情報>

- ・麻布大学 文部科学省私立大学研究ブランディング事業に関して

<https://project.azabu-u.ac.jp/>

- ・国際シンポジウムの開催に関して

[https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019\\_jp.pdf](https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019_jp.pdf)

シンポジウムの開催概要は、別紙添付ポスターを参照願います。



動物共生科学

私立大学研究ブランディング事業  
ロゴマーク

### <本件のお問い合わせ先>

麻布大学 広報課 担当：栗末、有嶋

- ・電話：042-769-2032
- ・メール：[koho@azabu-u.ac.jp](mailto:koho@azabu-u.ac.jp)
- ・HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>